8R9 078 70003

施工説明書
取扱説明書

# Panasonic® プラスばん コンパクト21

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

施工説明書

施工店様へ

- この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 有資格者以外の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 施工完了後、裏面に「施工電気工事業者名」を記入いただき、この説明書を取扱者様へお渡しください。

## 安全上のご注意　けがや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください

### ⚠警告

必ず守る

**施工・点検時には必ず主電源を切る**

電源が入ったままの施工は感電の原因になります。

### ⚠注意

必ず守る

**端子ねじは適正締付トルクで確実に締付ける**
端子ねじのゆるみは発熱・発火の原因になります。

**電源側プラグイン端子はバーへ確実に差込む**
差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります。

**負荷側速結端子に接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで、電線を奥まで確実に差込む**
差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります。

**負荷側速結端子への接続電線は、変形・腐食のないものを使用する**
守らないと、発熱・発火の原因になります。

**電源を接続する場合は、各相を正しく接続する**
相を間違うと異常電圧が発生し、発熱・発火の原因になります。

## ■ 設置に関するご注意

- 分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。戸棚・便所・浴室などの内部には取付けないでください。
- 高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など、異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。屋外や水のかかる場所には使用できません。
- 分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。凸凹のある場所へ無理に取付けないでください。
- 分電盤は同梱の取付ねじ、またははさみ金具（別売）を利用して、壁に固定してください。
- 分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。

## ■ 施工に関するご注意

- この分電盤は、単相3線式（1φ3W）100/200 Vまたは、単相2線式（1Φ2W）100-200 V 専用です。
- バー定格の範囲内で使用してください。
- 端子台のねじは、適正締付トルクで増締めを行ってください。
- 最大負荷電流に適合したものを使用してください。
- 電線サイズは分岐ブレーカ・端子台に接続する電線サイズは右表より選んでください。
- 100 Vの回路は片寄せ配線となっていますので、内線規程の〔不平衡負荷の制限〕を考慮してください。
- ブレーカの定格電流に応じて、この説明書に記載の電線サイズおよび適合圧着端子を使用してください。
- 感震ブレーカー（BQX702など）、盤用避雷器（BQX81など）は使用できません。

各接続端子の適正締付トルク

| 端子サイズ | 適正締付トルク（N･m） |
|---|---|
| M6 | 3.0～4.0 |

分岐ブレーカ・端子台　適合電線サイズ

| ブレーカの定格電流 | | 電線サイズ |
|---|---|---|
| 分岐 | 15 A | φ1.6　φ2.0 |
| | 20 A | φ1.6　φ2.0 |
| | 30 A | φ2.6 |
| 端子台 | 50 A（バー定格） | φ1.6～2.6　5.5～14 mm² |

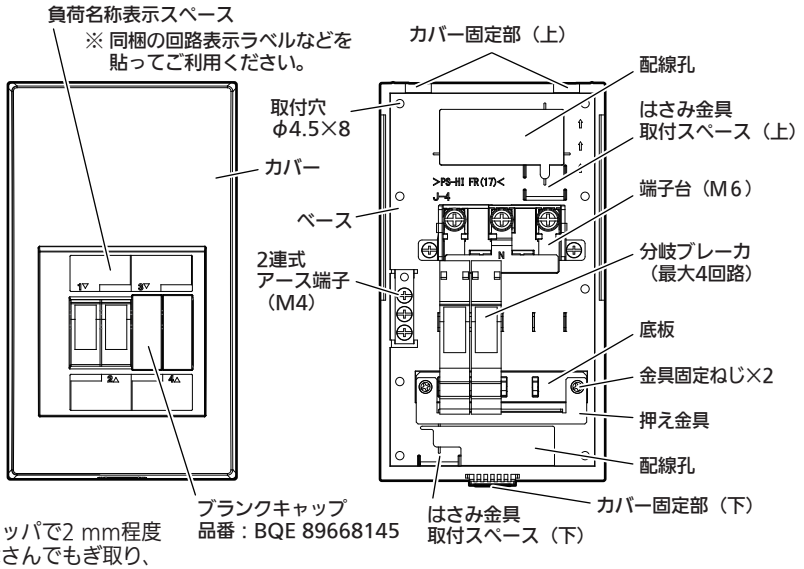
## ■ 取付け上のご注意

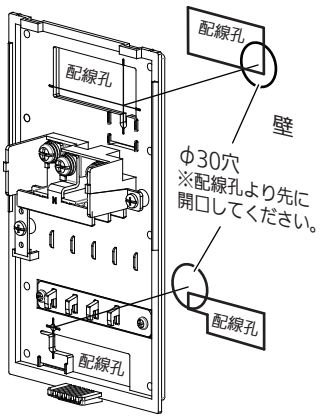
- 本体の取付けは、天井面から15 mm以上、下側面から30 mm以上の間隔を空けてください。（右下図参照）
- ベースをねじで取付ける際、取付穴（8ヵ所）以外でのねじ止めは避けてください。ベース変形の原因になります。
- ベースの配線孔の範囲内で壁に穴を開けてください。（はさみ金具利用時を除く）
- カバー取付け時、ベースのカバー固定部（3ヵ所）にカバーがしっかりと嵌合していることを確認してください。

### 【はさみ金具利用時の壁への取付手順（推奨）】

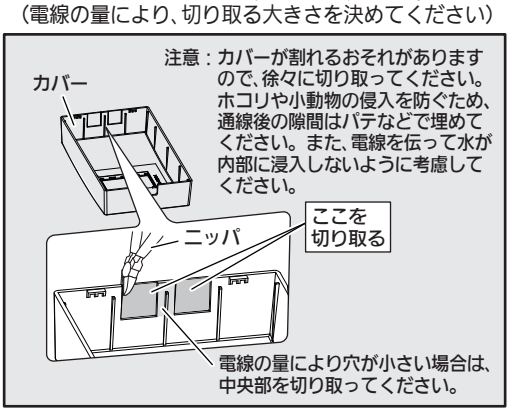
①カバー、押え金具および金具固定ねじを外してください。
②はさみ金具を取付ける穴と配線孔をあけるため、下図を参考にガイドに沿って壁に印をつけます。
③印を中心としてφ30のホールソーで壁に穴をあけます。
④配線孔の範囲内で壁に穴をあけます。
※ ③であけた穴と繋がってもかまいません
⑤押え金具および金具固定ねじを元に戻します。
⑥下部のはさみ金具のみを、あらかじめベースに取付けた状態でベースを壁に仮止めします。
⑦上部のはさみ金具を仮止めします。
⑧位置を微調整して、本締めして固定します。

## ■ 各部のなまえ（右図はカバーを外した状態です）




- 露出配線する場合、カバー上部をニッパで2 mm程度切込みを入れ、ペンチで中央部をはさんでもぎ取り、カッターナイフ・ヤスリで仕上げてください。（電線の量により、切り取る大きさを決めてください）



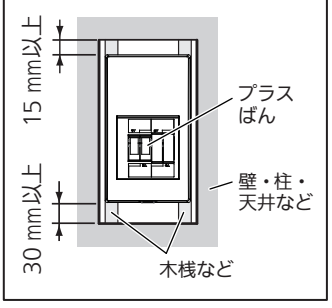

### 【石こうボード用取付はさみ金具】

（別売4個入りの内2個のみ使用します）

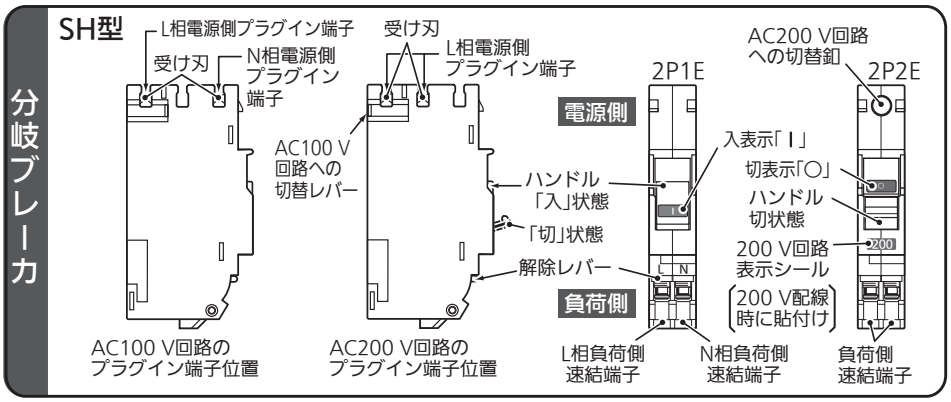
- 別売の石こうボード用取付はさみ金具をご使用頂くと下地工事なしで石こうボード壁・新建材壁に直接簡単に取付けできます。

当社品番：
BQS900（9～15 ㎜ 壁用）
BQS901（16～25 ㎜ 壁用）

《上下の間隔》



## ■ 各部のなまえ（ブレーカ）




＊Cu（銅）単線専用
（より線の場合は棒圧着端子使用）【下表参照】

| 接続可能電線 | | 適合棒圧着端子品番 パナソニック製 | 注意事項 |
|---|---|---|---|
| Cu（銅）単線 | φ1.6 | | 定格電流 30 Aは接続不可 |
| | φ2.0 | | |
| | φ2.6 | | |
| Cu（銅）より線 | 1.25 mm² | BB9924 | 定格電流 20・30 Aは接続不可 |
| | 2.0 mm² | | 定格電流 30 Aは接続不可 |
| | 3.5 mm² | BB9921 | |
| | 5.5 mm² | | |
| | 8.0 mm² | BB9923 | |

## ■ 接続上のご注意【分岐ブレーカ速結端子への電線接続について】

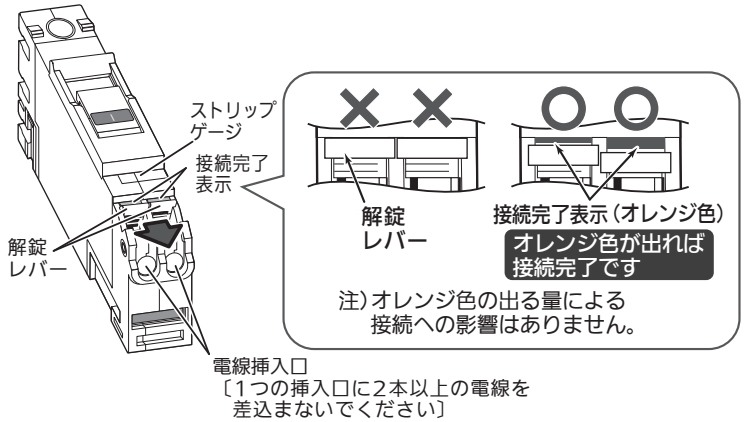
- 電線の被覆をむく。〔本体のストリップゲージに電線を合わせ、15 mmむく〕
- 電線を差込む。〔電線挿入口から入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差込む〕

注）● 電線の変形・腐食は、発熱・発火の原因になります。
電線をむき直してから接続してください。
● オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。
発熱・発火の原因になりますので電線のむき長さを確認の上、
接続し直してください。

＊電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向（☛）に
押しながら電線を引いてください。
〔φ2.6および8.0 mm²電線は抜きにくい場合があります。
そのときは本体を分電盤から取外し、電線を抜いてください〕

注）解錠レバーの操作力は約7 Nです。押込み荷重が
高すぎる（100 N以上）と、破損する場合があります。

- 分岐ブレーカ負荷側端子のL相とN相を正しく接続してください。




**取扱説明書**　（保管用）

取扱者様へ　お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 安全にご使用いただくため、定期点検を電気工事業者へ依頼されることをお奨めします。
- 有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

## 安全上のご注意　けがや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください

### ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| 禁止 | ● カバーは絶対に開けない<br>感電する場合があります。 |
| 必ず守る | ● 異常（発熱・臭い・煙など）がありましたら直ちに主幹ブレーカを「切」にして、連絡先または電気工事業者へ連絡する<br>火災のおそれがあります。 |

- 安全にご使用いただくため、定期点検を電気工事業者へ依頼されることをお奨めします。

### 使用上のご注意

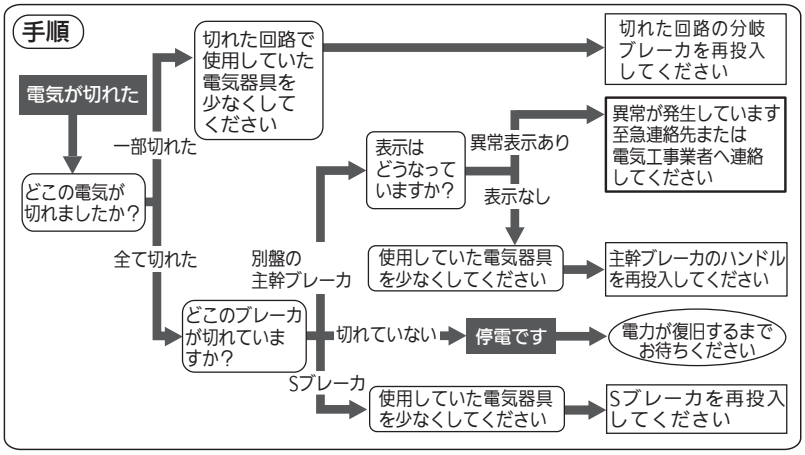
- 住宅分電盤の前面には、ものを置かないでください。
- ブレーカを日常のスイッチとして使用しないでください。
- 下記のような環境では使用しないでください。
  高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など
- 住宅分電盤表面の汚れは、乾いた布または中性洗剤を軽く湿らせた布で拭き取ってください。

✕ 薬品やアルカリ系・酸性系などの洗剤 → ○ 乾いた布による拭き取り 中性洗剤の使用（軽く布に湿らせてご使用ください）

注意　分岐回路表示ラベル部は乾いた布をご使用ください。
（湿った布の使用は、表面がにじむことがあります）

## ■ 電気が切れたときの処置

【主幹ブレーカ動作時、ハンドルの繰り返し投入は避けてください】




## ■ 施工電気工事業者様へのお願い

- 施工終了後、電気工事業者名欄にご記入ください。

| 施工電気工事業者名 | | |
|---|---|---|
| | | |
| TEL　（　　） | 施工年月日　　年　　月　　日 | |

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。


パナソニック株式会社
パナソニック スイッチギアシステムズ株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131


© Panasonic Corporation 2018

8R9 078 70003
PC0118-20518